

【 】	
氏名	山 地 英 孝
授与した学位	博 士
専攻分野の名称	医 学
学位授与番号	博乙第 号
学位授与の日付	平成16年9月30日
学位授与の要件	博士の学位論文提出者 (学位規則第4条第2項該当)
学位論文題目	Evaluation of Arteriovenous Crossing Sheathotomy for Branch Retinal Vein Occlusion by Fluorescein Videoangiography and Image Analysis (SLO走査レーザー検眼鏡と画像解析による網膜静脈分枝閉 塞症に対する動静脈交叉部血管外膜切開術前後での血流の 変化)
論文審査委員	教授 西崎 和則 教授 梶谷 文彦 助教授 黒田 昌宏

学 位 論 文 内 容 の 要 旨

黄斑浮腫を伴う網膜静脈分枝閉塞症に対する動静脈交叉部血管外膜切開術併用の硝子体手術が実際の網膜血流に及ぼす影響を検討した。1999年8月から2002年2月までに動静脈血管外膜切開術併用の硝子体手術を行った連続18例18眼（男性7名、女性11名）年齢 63.3 ± 10.4 歳（平均 \pm 標準偏差）に対しSLO走査型レーザー顕眼鏡videoフルオレセイン蛍光眼底造影（v-FAG）とvideo image analyzing systemを用い、色素希釈法により術前と術後早期の動静脈交叉部閉塞静脈末梢部上と健常静脈上の2ポイントを設定し、その2ポイントの色素希釈曲線から求めた、最大濃淡度の50%値（T50）の時間差（ Δ T50）を検討した。18眼中15眼に Δ T50の短縮がみられ（ $P=0.035$ ）、全体で平均47.1%の短縮が見られた。この結果から網膜静脈分枝閉塞症に対する動静脈交叉部血管外膜切開術併用の硝子体切除術は閉塞部静脈の循環改善に効果的と考えられた。

論 文 審 査 結 果 の 要 旨

本研究は、網膜静脈分岐閉塞症に対する動静脈交叉部血管外膜切開術の有用性をSLO走査レーザー検眼鏡と画像解析により、網膜静脈の血流変化を手術前後で比較することにより実証した非常に有意義な臨床研究である。

よって、本研究者は博士（医学）の学位を得る資格があると認める。